

# 焼き板

自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。

場所	1～4号研修室	対象	小学生以上
所要時間	2～2.5時間	人数	10～50名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	職員指導あり ※着火まで	提出書類	教材注文票
経費	300円/セット（杉板、ヒートン、ひも） ガスボンベ：250円/本（5人で1本が目安）		



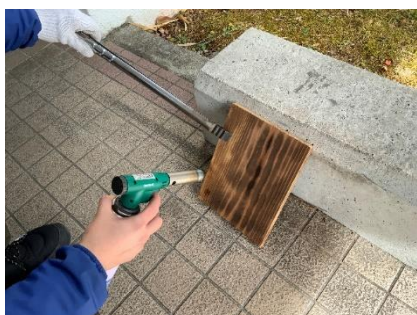
活動の 教育的効果	<p>(1) 絵を描くことにより、創造性を養うことができる。</p> <p>(2) ガスバーナー等の器具の取り扱いを学ぶことができる。</p> <p>(3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。</p> <p>(4) 表面を焼くことで炭化し、腐朽菌が繁殖しにくくなるため、雨風やシロアリに強い。</p>
準備 するもの	団体が準備するもの
	<p><input type="checkbox"/>個人：ポスカ、軍手</p> <p>※絵の具を使用することも可能。その際は絵の具セットを持参する。</p> <p>※絵の具の代わりに水性ペンでも可能</p> <p><input type="checkbox"/>団体：新聞紙、雑巾、材料板（教材注文票で注文し、食堂にて受取）、ガスボンベ（食堂にて販売有）、彫刻刀（必要に応じて）</p>
	交流の家が貸し出すもの
	<p><input type="checkbox"/>たわし <input type="checkbox"/>火ばさみ <input type="checkbox"/>バーナーヘッド</p>

備考	<p>□作り方はホームページよりダウンロードが可能。</p> <p>□人数が多い場合は、富士ピロティで説明や磨く作業を行うことがある。また、団体の人数が多い場合には、調整の段階でローテーションを組んで実施することがある。その場合は、全員がガスバーナーで焼き終わるまでに待ち時間が生じるため、その間の過ごし方を事前に計画しておくが良い（デザインを考える等）。</p>
----	--

## 活動の流れ

# 焼き板

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	15分	準備	□食堂で材料を受け取る。	
	90~120分	焼き板 作成	<p>□職員による焼き板作成の説明を受ける。</p> <p>□ガスバーナーで焦げ目がつくまで焼く。</p> <p>□焼いた板をたわし、雑巾の順番で磨く。</p> <p>□色をつけるための下書きをする。</p> <p>□ポスカ等で字や絵を描く。 (新聞を敷き、机にポスカが付かないようにする)</p> <p>□きりで穴を開けヒートンを固定し、ひもを通す。</p>	バーナー使用時は引率者が必要。
	15分	片付け	□新聞紙等のゴミを掃除する。	
	15分	発表	□作成した焼き板をクラス等で発表する。	
	<p>想定されるリスク</p> <p>□けが（板のとげが刺さる、のこぎり、きり、彫刻刀での裂傷）</p> <p>□やけど（ガスバーナー、焼いた直後の板）</p> <p>□ガス中毒（ガスバーナーのガスを吸い込む）</p> <p>□ガスボンベへの引火、爆発</p>			
指導の バリエーション	<p>□かまどの火で板を焼くこともできる（ガスバーナーを使用しないで焼く）。</p> <p>□焼く前に、のこぎりで好きな形に切ったり、彫刻刀で彫ったりすることもできる。</p>			



特別な施設での活動